



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社スポーツフィールド 上場取引所 東
 コード番号 7080 URL <http://www.sports-f.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 篠崎 克志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 亀田 高一郎 (TEL) 03-5225-1481
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	556	△4.6	23	△78.2	22	△79.1	14	△79.0
2020年12月期第1四半期	583	—	108	—	108	—	69	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 14百万円 (△79.0%) 2020年12月期第1四半期 69百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	16.47	15.39
2020年12月期第1四半期	78.57	73.25

(注) 2019年12月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,503	461	30.7
2020年12月期	1,488	446	30.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 461百万円 2020年12月期 446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,235	18.7	126	681.7	122	282.9	78	358.5	88.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 社（社名）、除外 社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年12月期1Q	887,440株	2020年12月期	882,560株
-------------	----------	-----------	----------

② 期末自己株式数

2021年12月期1Q	77株	2020年12月期	77株
-------------	-----	-----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期1Q	883,639株	2020年12月期1Q	881,613株
-------------	----------	-------------	----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年3月31日）におけるわが国経済は、2020年1月より世界に広がった新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられています。

人材サービス業界においては、2021年1月以降の有効求人倍率は1.10倍以下を推移しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、採用市場は売り手市場から買い手市場へと変遷している状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時にスポーツが持つ可能性を様々なフィールドで発揮し、個人、法人、地域社会そして日本の発展に貢献すること」という経営理念のもと、スポーツ人財（※1）がスポーツを通じて培った素養を活かし、競技以外のビジネスというフィールドで輝けるよう、最適な企業と結びつけることに取り組んでまいりました。

（※1. スポーツに打ち込んだ経験を通じて社会・企業が求める高い価値を身につけた人財。新卒者においては、現役体育会学生、大学スポーツサークル・高校部活・クラブチーム等での競技経験者。既卒者においては、体育会出身者及び現役アスリートも含めたスポーツに打ち込んだ経験を持つ社会人。）

当社グループの主要3事業である、新卒者向けイベント事業、新卒者向け人財紹介事業、既卒者向け人財紹介事業については以下のとおりであります。

新卒者向けイベント事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は、374,276千円（前年同期比7.3%減）となりました。イベント開催数は来場型・オンライン型ともに前年同期比増加し、販売枠数も総数としては前年同期比で増加となりましたが、来場型・大規模イベントに対する企業の需要が伸び悩んだことから、売上高は前年同期比で減少となりました。イベントへの参加学生のべ人数につきましては、オンライン型イベントの開催により大幅に増加いたしました。

新卒者向け人財紹介事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は56,318千円（前年同期比63.0%増）となりました。2021年3月卒学生に対する企業の採用需要が年明け後（2021年1月～3月まで）も、前年同期と比較して根強かったこと、また、2022年3月卒学生の採用活動の早期化の動きが見られたことから、内定承諾人数が前年同期を上回り、売上高は前年同期比で増加しました。また2020年9月より開始したスポーツ経験者のための就職支援サービス「スポチャレ」も売上増加に寄与いたしました。2022年3月卒学生向けスポナビ2022の登録人数は2021年3月末時点において前年同期を上回って推移し、2022年3月卒学生のユニーク紹介学生数（企業に紹介した重複しない学生数）及びカバー率（登録者の内、面談対応により、アナログな関係が構築できている登録者の比率）は、就職活動の早期化、オンライン面談の活用、人財・企業を担当する営業人員数を増強したことにより、前年同期を大幅に上回りました。ユニーク紹介企業数（学生に紹介した重複しない企業数）は、前年同期を下回っていることから、第2四半期以降、紹介企業数の拡大を図ります。

既卒者向け人財紹介事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は、105,773千円（前年同期比21.2%減）となりました。新型コロナウイルス感染症拡大による企業の採用活動への影響が継続し、ユニーク紹介人財数（企業に紹介した重複しない人財数）及びユニーク紹介企業数が減少、紹介成約人数は減少しました。求人企業の採用意欲の低下による選考通過率の低下も前年同期で売上高減少要因となりました。売上改善を図るため、既存顧客企業の採用ニーズに対するきめ細かい対応と新規顧客企業の獲得に取り組んでおります。

売上原価に関しては、新卒者向けイベントにおいて来場型イベントの開催数増加に伴う会場費の増加、また、デュアルキャリア事業の売上増加に伴う派遣人件費の増加により増加しました。

営業利益及び経常利益に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する前であった前年同期比で減益となりました。営業体制・内部管理体制の強化に伴う人件費の増加、前年実施したオフィスの拡充及び横浜オフィスの移転に伴う地代・家賃の増加及び広告宣伝費の戦略的投下により販売費及び一般管理費が増加しましたが、前年に引き続きオンライン商談やリモートワーク推進による旅費交通費等の諸経費の削減を図っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は556,950千円（前年同期比4.6%増）、営業利益は23,605千円（前年同期比78.2%減）、経常利益は22,597千円（前年同期比79.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,550千円（前年同期比79.0%減）となりました。

事業別売上高及び前年同期比は以下のとおりです。なお、当社グループはスポーツ人財採用支援事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

区分	売上高(千円)	前年同期比(%)
新卒者向けイベント売上高	374,276	△7.3
新卒者向け人財紹介売上高	56,318	63.0
既卒者向け人財紹介売上高	105,773	△21.2
その他売上高	20,581	82.7
合計	556,950	△4.6

(注) 1. 上記の金額には返金引当金繰入、売上戻り高を含んでおります。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,503,906千円となり、前連結会計年度末に比べ15,724千円増加しました。これは主に、横浜オフィス移転工事等に伴い固定資産が18,439千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,042,441千円となり、前連結会計年度末に比べ1,085千円増加しました。これは主に、未払金や未払費用の増加等に伴い、流動負債が34,496千円増加したこと、また長期借入金の約定返済等に伴い固定負債が33,410千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は461,464千円となり、前連結会計年度末に比べ14,638千円増加しました。これは主に、利益剰余金が14,550千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期業績予想につきましては、2021年2月12日に公表した予想数値から変更はありません。

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きがみられることから、新型コロナウイルス感染症の影響が当面続くものの、景気は業種によりまだら模様ながら緩やかな回復基調に転ずるものと想定しております。

緊急事態宣言下においても、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで就職イベント開催が可能であること、また、企業の採用選考手続きが例年通り大きな支障なく可能であることを前提として通期業績予想を算定しております。

2021年5月時点において、3回目の緊急事態宣言が発令されている地域によっては、就職イベントの開催が延期または中止となる状況が見込まれますが、現時点での影響は軽微であり、2021年12月期の通期業績予想を据え置くものとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	971,674	878,619
売掛金	169,429	266,936
その他	67,261	58,806
貸倒引当金	△2,478	△1,191
流動資産合計	1,205,886	1,203,171
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	144,572	157,928
工具、器具及び備品	20,567	21,833
減価償却累計額	△51,780	△48,746
有形固定資産合計	113,360	131,015
無形固定資産		
ソフトウェア	2,200	2,050
無形固定資産合計	2,200	2,050
投資その他の資産		
敷金及び保証金	138,015	138,049
繰延税金資産	27,043	28,143
その他	1,676	1,476
投資その他の資産合計	166,735	167,669
固定資産合計	282,295	300,735
資産合計	1,488,182	1,503,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,019	18,760
短期借入金	75,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	197,368	192,364
未払金	33,801	66,570
未払費用	58,787	89,188
未払法人税等	2,037	9,152
未払消費税等	44,189	34,246
賞与引当金	38,129	76,896
返金引当金	34,353	1,236
その他	48,238	40,004
流動負債合計	543,923	578,419
固定負債		
長期借入金	458,447	421,399
資産除去債務	38,112	41,829
その他	873	793
固定負債合計	497,433	464,022
負債合計	1,041,356	1,042,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	92,712	92,756
資本剰余金	82,412	82,456
利益剰余金	271,926	286,477
自己株式	△225	△225
株主資本合計	446,826	461,464
純資産合計	446,826	461,464
負債純資産合計	1,488,182	1,503,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	583,585	556,950
売上原価	48,317	54,868
売上総利益	535,267	502,082
販売費及び一般管理費	427,155	478,477
営業利益	108,112	23,605
営業外収益		
受取利息	3	5
雑収入	892	168
営業外収益合計	895	174
営業外費用		
支払利息	875	1,146
その他	22	35
営業外費用合計	898	1,182
経常利益	108,109	22,597
税金等調整前四半期純利益	108,109	22,597
法人税等合計	38,840	8,047
法人税、住民税及び事業税	39,090	9,147
法人税等調整額	△249	△1,100
四半期純利益	69,268	14,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,268	14,550

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	69,268	14,550
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	69,268	14,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,268	14,550
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済や企業活動に甚大な影響を与えており、依然として国内経済は先行き不透明な状況が続くものと推測しておりますが、当社グループの業績に与える影響については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響に関する仮定について重要な変更はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。